



神奈川大学フロンティアクラブ会報

発行日 2002年10月18日
編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ広報委員会
事務局 神奈川大学内
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL.045-481-5661(代)
FAX.045-491-7915

第 8 号

大学 Topics

「神奈川大学 全国高校生理科・科学論文大賞」新設

― 理科教育を支援 ―

今回初めての試みとなった「神奈川大学 全国高校生理科・科学論文大賞」の応募受付が九月二日から開始された。この賞は、全国の高校生に、理科・科学に関する研究や実験の成果を論文にまとめて応募してもらおうというもの。近年、学校教育においては「理科離れ」が危惧され、理科教育のあり方が指摘されている。そのような現状をふまえ、神奈川大学ではこの賞を通して高校生の理科能力の向上をはかり、高等学校における理科(科学)教育を支援することを目指している。

神奈川大学では高校生文化の振興を目的として、既に「全国高校生俳句大賞」を実施しており、今年で第五回を迎える。この賞には毎年多くの応募があり、昨年は一万人以上の応募者から約三万句もの作品が集まっている。高校生のみならず、感性で詠まれた率直で新鮮な俳句には大きな関心が寄せられており、メディアでも広く取り上げられている。さらに入選作品は「17音の青春」として刊行

(NHK出版)された。今回企画された「全国高校生理科・科学論文大賞」はいわばその理系版といえる。神奈川大学では本賞においても「全国高校生俳句大賞」同様、多くの高校生からの論文応募を期待している。

●賞(奨学金・記念品)
大賞(一編) 十万円・記念品
優秀賞(三編程度) 五万円・記念品
努力賞(十五編程度) 三万円・記念品

●応募期間 九月二日(月)～十一月五日(火)必着

●応募条件 高等学校に所属する、理科・科学系クラブなどの団体、グループまたは個人。応募論文は未発表のもの。

●論文内容 数学、物理、地

●結果発表 十二月下旬

●団体奨励賞(五団体) 二万円
●記念品

学、化学、生物、情報、自然、技術など理科・科学に関する研究や実験、観察、調査の成果。



「学校法人 神奈川大学 総合案内」2002-2003 発行

広く一般社会に向けて、神奈川大学の教育事業および研究活動を広報するための新たな媒体として「学校法人神奈川大学 総合案内2002-2003」が発行された。

この総合案内(法人パンフレット)は、理事長、学長挨拶をはじめ、創立七十周年を期にスタートした「横浜キャンパス再開発事業ビデオ」

横浜キャンパス再開発事業ビデオ「21世紀の神奈川大学」完成

神奈川大学では、かねてから「社会に開かれた大学」「地域の学術・文化の核」となるべく、耐震対応の安全で快適な教育環境の整備と開放的なキャンパスづくりに取り組んできた。平成十年には創立七十周年事業の一環として横浜キャンパスの再開発事業

ンパス再開発事業」の完成を特集で紹介している。そのほか、各学部の教育・研究、附属学校、学内の各施設や情報通信環境、就職支援、国際交流、生涯学習、法人・教学・事務局などの組織・運営、沿革等で構成されている。

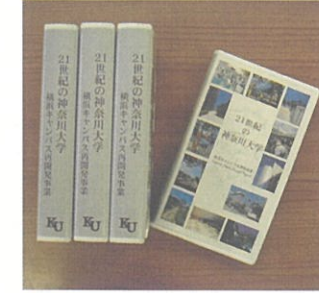
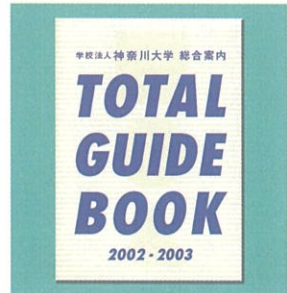
また、データブックとして学部・学科推移、学生数、教職員数、就職実績、研究活動諸データ等、各教員のプロフィール(専門分野、研究課題、研究業績)を別冊で編集し、発行した。(教員プロフィールは公式サイト <http://www.kanagawa-u.ac.jp/>公開)

これらは、高等学校、官公庁、求人企業、取引企業、外部研究に着手、今春、五年の歳月をかけて取り組んできた再開発事業は無事完成を迎えることとなった。

このビデオ「21世紀の神奈川大学」は、そうした再開発事業における数々の取り組みを紹介している。たとえば、新たに建て替えられた一号館、一部を生涯学習棟として再利用するために残置・耐震補強改修された3・4号館、さらに、工学部棟として最先端の免震工法を採用して新設された23号館、課外活動のための部室や体育施設の高度化を目指して新設された人間科学棟、そのほか地域との融和に配慮

した公開空地の導入や周辺歩道整備などを紹介し、21世紀にふさわしい魅力あふれるキャンパスに生まれ変わった神奈川大学をPRしている。

本ビデオを希望される方は広報課までお問い合わせください。



平成一四年度臨時総会開催

― 要綱の変更、組織の改編、新事業計画を承認 ―

平成一四年度の神奈川大学フロンティアクラブ(KUFC)の臨時総会が、七月一三日(土)午後四時から、神奈川大学1号館三〇八会議室で開催された。

今回の臨時総会は、本年二月二日(土)に開催された平成一四年度神奈川大学フロンティアクラブ総会の際に、大学や社会の情勢の変化に対応

応じたフロンティアクラブの活動内容、組織の見直しの提案にもとづいて開催された。今年度の総会以降、各学部の法人、フロンティアクラブ事務局から成る見直し検討委員会によって検討が進められ、本臨時総会に提案の運びとなった。

臨時総会は、神尾秀雄KUFC代表の挨拶、来賓として出席した白井宏尚常務理事、山火正則学長の挨拶の後、議事に入り、要綱の変更、人事、事業計画が審議され承認された。

冒頭の挨拶で、神尾代表は「少子化という厳しい社会状況を超えて飛躍するためには、卒業生の活動が大きいく、五年目を迎えたフロンティアクラブも、可能なかぎり支援をしていきたい。そのため

にも、会の活動内容等を再検討し、それをここで承認いただきたい」と、挨拶した。来賓として、白井常務理事は、横浜キャンパス再開発計画が五年がかりで完了し、そのハード面での整備の上に、今後ソフト面の充実を図り、大学の評価を高めていきたいと、挨拶された。山火学長は、学生による授業評価、高大連携、司法制度の改革に伴う法律家の養成としてのロースクールの開設へ向けての進行状況など、教学の取組みについて報告された。

この後、神尾代表を議長に選出して臨時総会の議事に入った。引き続き、長野定英副代表から、審議事項であるフロンティアクラブの要綱の変更、人事、事業計画について提案説明が行われた。

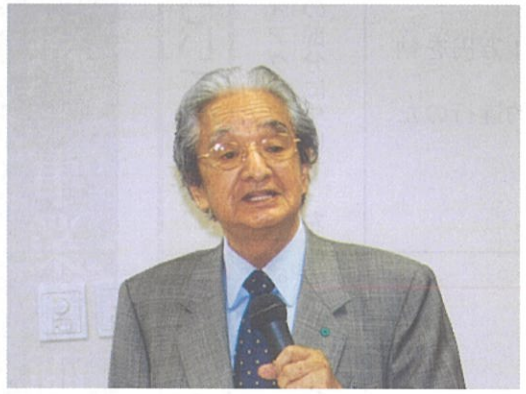
提案の主な要点は、要綱については、これまでの寄付金の募集を「奨学金等」に、学

生の活動支援を「入試・就職活動」の支援に改め、組織については、五つの委員会を四つに統合し名称変更を行ったことである。また、事業計画については、会員の拡大、神奈川大学フロンティア奨学金の新設等が提案された。

臨時総会の審議のなかで、組織名称の一つである「入試・就職委員会」の名称については、再検討することになった。この他、新規会員の拡大や大学とフロンティアクラブとの連携、協力などについて、活発な意見交換が行われた。

臨時総会終了後は、本学外国語学部の卒業生で浪曲師の太田もも子さんの公演が行われ、出席者の好評を博した。その後、新1号館八階のラウンジで和やかな懇親会がもたれた。

今後、平成一四年度臨時総会をもとに、新たな会員の拡大とともに、大きな大学と社会の変化に対応したフロンティアクラブの活動が展開されることになる。



臨時総会は、神尾秀雄KUFC代表の挨拶、来賓として出席した白井宏尚常務理事、山火正則学長の挨拶の後、議事に入り、要綱の変更、人事、事業計画が審議され承認された。

冒頭の挨拶で、神尾代表は「少子化という厳しい社会状況を超えて飛躍するためには、卒業生の活動が大きいく、五年目を迎えたフロンティアクラブも、可能なかぎり支援をしていきたい。そのため

臨時総会は、神尾秀雄KUFC代表の挨拶、来賓として出席した白井宏尚常務理事、山火正則学長の挨拶の後、議事に入り、要綱の変更、人事、事業計画が審議され承認された。

冒頭の挨拶で、神尾代表は「少子化という厳しい社会状況を超えて飛躍するためには、卒業生の活動が大きいく、五年目を迎えたフロンティアクラブも、可能なかぎり支援をしていきたい。そのため

臨時総会終了後は、本学外国語学部の卒業生で浪曲師の太田もも子さんの公演が行われ、出席者の好評を博した。その後、新1号館八階のラウンジで和やかな



新要綱、組織、事業計画について

要綱の変更について

神奈川大学フロンティアクラブの要綱(平成九年二月五日施行)については、「3. 事業」「7. 会費」の部分について、左記のような変更が臨時総会で承認された。

神奈川大学フロンティアクラブ要綱(新)	神奈川大学フロンティアクラブ要綱(現行)
<p>3. 事業 本会は、目的達成のため、次の事業を行う。 (1)大学の充実発展に関すること。 (2)奨学金等の募集に関すること。 (3)入試・就職活動の支援に関すること。 (4)産・官・学協同活動の支援に関すること。 (5)会員相互の親睦に関すること。</p> <p>7. 会費 (1)本会に入会する者は、入会金1万円および年会費1万円を納入しなければならない。 (2)入会金および年会費は本会の運営資金ならびに目的遂行のために充てる。 (3)納入した入会金および年会費は返還しない。 (4)行事を行う場合は、実費を徴収する。</p>	<p>3. 事業 本会は、目的達成のため、次の事業を行う。 (1)大学の充実発展に関すること。 (2)寄付金の募集に関すること。 (3)学生の就職活動の支援に関すること。 (4)産・官・学協同活動の支援に関すること。 (5)会員相互の親睦に関すること。</p> <p>7. 会費 (1)本会に入会する者は、入会金2万円および年会費1万円を納入しなければならない。 (2)入会金および年会費は本会の運営資金ならびに目的遂行のために充てる。 (3)納入した入会金および年会費は返還しない。 (4)行事を行う場合は、実費を徴収する。</p>

平成一四年度の事業計画について

平成一四年度の事業計画については、左記のように承認された。

- 一、組織・広報活動
 - ・会報の発行
 - ・会員名簿の整備
 - ・会員拡大を目標に新規加入を確保すべく勧誘活動を展開(フロンティアクラブ担当事務局を学校法人神奈川大学総務部総務課に設置し、卒業生に関する情報収集を行う。)
- 二、奨学金等協力活動
 - ・学生支援の奨学資金の寄付、内容の充実を図る(村橋・フロンティア奨学金)
- 三、新規として「神奈川大学フロンティア奨学金」の立ち上げ
- ・奨学金を給付された学生との交流
- ・入試・就職支援活動
 - ・会員の協力を得て学生の就職活動を多面的に支援
 - ・大学の要望を受けた上での入試に関する活動を展開
- 四、産官学協同活動
 - ・異業種交流の推進
 - ・産官学の情報提供
 - ・現場見学会の開催
 - ・体験の場提供
- 五、その他
 - ・会員相互の交流促進・親睦会活動
 - ・会員への情報サービスの充実

組織の変更について

神奈川大学フロンティアクラブの組織の変更については、現行の「広報委員会」と「組織委員会」は統合して「組織・広報委員会」とし、「募金協力委員会」は「奨学金等協力委員会」に、「就職支援委員会」は「入試・就職委員会」(ただし、名称は再検討することとなった)に、変更されることが承認された。組織の変更により、新規会員の拡大、組織・活動内容の充実が図れることとなった。

フロンティアクラブ各委員会の活動について

組織・広報委員会

委員長 島津 英郎



文芸春秋九月号に「優秀企業ベスト経営者の能力」という記事が出ていた。今までの仕事の関係で数社の経営者に親しくお目にかかる機会があったが、経営者の六つの特徴能力が備わっていたのを確認してなるほどと納得した。私が神大フロンティアクラブに入ってから活動をはじめたきっかけは、私の会社の同フロアーの向かいの会社の会長から訪ねるようにと連絡があったことに始まる。その方がフロンティアクラブの設立に尽力されていた長野定英氏(当時日鍛パルプ会長、工経23年卒)であった。私もクラブの世話人に加えてもらい現在に至っている。

この活動を通じて、当クラブ会長の神尾秀雄氏(トヨタ前副社長、高商15年卒)に出会う事ができた魅力ある人柄に接することもできた。ダイヤモンド誌(平成十四年五月号大学特集)に上場企業役員、管理職に本校OBが大勢いる

奨学金等協力委員会

委員長 鈴木 実



これまでフロンティア活動には何のお役にでも立てずに今日まで参りましたが、この度、世話人の方々の強い協力方要請もあり「奨学金等協力委員会」の委員長をお引き受けす

ことが載っていたがこの数年、かなりの先輩後輩に会うことができた。その特徴は、対人快適性(アメニティー)が高い方々が多いように思える。直接会ってみて誠実度が高く、また周囲に対しての貢献度が高いばかりでなく、濃密な人間的魅力もあり、忘れられない愛着を覚える人が多いように思う。これからの社会へ不安を抱えている学生に、現在社会で活躍している彼ら先輩に橋渡しが出来ればと常々思っていたが、このフロンティアクラブの活動を通じて出来そうに思える。これから社会へ巣立った在校生後輩の元気づけと、人生の方向づけに支援とお力を貸していただきたい。

入試・就職委員会

委員長 新井 三夫



前回は引き続き委員長を拝命することになり、以前にも増して困惑している。今迄、何一つ「相応」の役割を果たせず、親しい先輩や仲間の方々に辞退したい旨を申しながら、再びお受けするに至ったからには委員会そのものの使命と責任を果たさなければと痛感している。大学には、入試、就職部が存在し、日夜その責務を全うすべく担当者は業務の遂行に邁進している事は言うに及ばないが、私共の支援委員会はあくまでその「支援」という事であるので、大学側の担当者と共に連携をとりながらコミュニケーションの共有化を計り、私共が支援出来るもの、しなければならぬものを積極的に話し合っ具現化し多少なりともお役に立ちたいと念じている。

今回は、意を決して前向きにその運営に当たるべく、豊かな経験を生かして頂く人や、今まで実行出来なかった分野に関係する新しいメンバーにもご無理をお願いして加わって頂き、いささかなりともご期待にお応え出来る体制を構成した。志気が高まり、適応

産官学共同委員会

委員長 柳沢 剛



フロンティアクラブでは今年度の事業推進体制を強化するため島津英郎初代委員長が組織・広報委員長に就任することになり、その後私が引き継ぐことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。当委員会は委員長の交替だけでなくこの機会に委員会強化のため四人の委員を新たに増員し次の十人の委員によつ

て運営されることになりました。新委員会に多くのご意見や叱咤激励をくださいますようお願いいたします。

- ・石丸 義弘(34・電気)
- ・岡村 進(35・法科)
- ・岡田 光弘(35・経済)
- ・柳沢 剛(37・工経)
- ・古家 秀紀(38・貿易)
- ・久保 肇(40・法科)
- ・望月 健治(41・工経)新
- ・小淵 昌夫(42・貿易)新
- ・春原正三郎(47・法科)新
- ・田口 澄也(53・工経)新

当委員会は大学の先生による講話「フロンティア・サロンの」を今日まで十回開催してまいりましたが、この事業をはじめ次のような諸事業を展開してまいりますので、会員皆様はもちろん卒業生各位の積極的なご参加をお願いいたします。

- 一、共同研究・技術移転事業(大学の知的資産と企業を結び付ける)
- 二、人的資産のデータベース作成(協力できる先生や公認会計士などの専門家卒業生のリスト作成と紹介)
- 三、総会時における特別講演会への協力
- 四、産学連携に関するフォーラムの開催
- 五、産学フロンティア・サロンの隔月開催

産学連携事業は時代の要請でもあり大学自体も専門の組織によって協力に推進している時だけに、当委員会としてはまさに大学と連携して事業を推進してまいります。